

(第3種郵便物認可)

◎ 毎日新聞 ◎

身近な話題 地域のニュース

千葉
西北臨床研修医ら向けに開かれた
「心の医学セミナー」

日本サイコオンコロジー学会は24日、柏市の国立がんセンター東病院で、「がん医療における心の医学セミナー」を開いた。がん患者の心のケアをする精神腫瘍学を臨床研修医や医学部学生に理解してもらおうと企画。全国で初の試みに、約100人の臨床研修医らが参加した。

がん患者の心のケア

「精神腫瘍学」

千葉 全国初のセミナー

がん診療連携拠点病院は全国に286。がん患者の心の問題などに対応する緩和ケアチームを備え、診療報酬を請求しているのは大学なども含めて約50にとどまっているという。

この日のセミナーは、がん患者の心のケアをする精神科医を増やすのが狙いだ。同学会の代表世話人の内富庸介国立がんセンター東病院精神腫瘍(しゅよう)学開発部長は「がんが心に与える影響と心ががんに与える影響の両方の側面から、心のケアを研究している」と説明。東京医科歯科大学の松島英介助教授の「がん患者における尊厳」、国立がんセンター中央病院の清水研医師の「精神腫瘍医になるためのトレーニング」などの講義が行われた。

国立がんセンターの調査によると、がん診断後で約2割、再発後で約4割の患者がうつ病やうつ状態などの症状があった。しかし、「10人に1人も精神科医による治療は行われていない(内富代表世話人)」というのが実態。【南恵太】